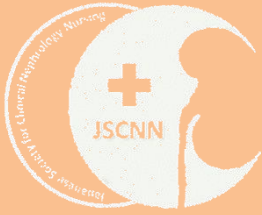


Japanese Society for Clinical Nephrology Nursing



「JHAT 研修に参加して in Sapporo」

JCHO 東京山手メディカルセンター 山岸 さゆり

2022年11月5日(土)、6日(日)に札幌国際ビルで開催されましたJHAT 隊員養成研修会に参加しました。私は現在、JSCNNの理事として医療安全・災害委員で活動していますが、今年9月に台風15号の影響で、静岡県の一部地域で断水が長期間続き、透析治療の継続に支障が出ているとの報告を受け、物資の支援を行いました。しかし、いざ物資を送る際に何が必要でどの程度送ればいいのか分からず、戸惑った経験がありました。この経験から、JHAT 研修に参加し、災害に対する考え方や災害支援の方法を学び、自施設や地域災害時の対応等、今後の活動に活かしていきたいと考えました。



JHAT 研修会では、6 人前後でのグループワークが主な内容でした。自分たちが業務支援を行う場合、どのような心構えが必要なのかというテーマから話し合い、北海道のある地域での災害を仮定し、先遣隊からの情報をもとに、現地入りの準備からその後の情報収集の方法、業務支援活動まで事細かにグループワークを通し、具体化していきました。また、支援を行うだけではなく支援を受ける(受援)施設になった場合、どのような対応が必要なのかも話し合いました。災害の観点から部署内のスタッフが行うこと、自施設・他施設を含め、応援に来てもらうスタッフに行ってもらうことを日頃から業務整理し明文化しているという施設がありました。どの施設でも行うことのできる災害に対する備えであり、他施設の方と話し合うこのような機会だからこそ得た貴重な意見でした。久しぶりの集合研修でしたが、話し合いを通じて意見や知識をブラッシュアップすることができました。JHAT の隊員登録には施設の同意がいるため、ハードルが高いかもかもしれません。まずは研修会に参加するだけでも、施設内の災害対策の何かきっかけを掴むことができるかもしれません。



次回の研修会は 2023 年 7 月に熊本県で予定しているそうです。研修初日は、13 時頃から夕方まで、2 日目は午前だけのタイムスケジュールであるため、地域の食を堪能する時間もあります(笑)。北海道では、研修開始前にスープカレーを食べました。お土産では、ルイベや山わさび、チーズケーキなどを購入し、自宅でもさまざまな北海道の食を堪能しました。以上、JHAT 研修会参加報告でした。



次回
予定

第9JHAT隊員養成研修会（熊本県）

日時：2022年7月（予定）

場所：調整中

定員：80名(先着順・参加費：3,000円)

JSCNN 理事長より

JHAT 研修は、非常に系統立てられた研修となっております。隊員にならなくても参加し、学びを深め、共通認識を得ることは、非常に価値があります。明日、起こるかもしれない災害に対して患者の一番近くにいる我々が、学ぶべき内容だと思います。今後の参加をよろしくお願いいたします。

徳田 勝哉